旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年７月２６日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌９０「ここも神の」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌４６１「主われを愛す」	一　同
教会学校	紙芝居「友だちの裏切り」	牧　師
讃　　美	讃美歌３６１「主にありてぞ」	一　同
聖書朗読	ヨハネ18:12-27	
奨　　励	ヨハネ伝の福音(第63回)	牧　師
主　　題	「挫けるな」	
讃　　美	讃美歌２４３「ああ主のひとみ」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	エレミヤ書第 51,52 章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
７/26(日)聖日礼拝
　/27(月)
　/28(火)
　/29(水)14:00牧師祈り会
　/30(木)13:00ﾔﾞｨﾚｯｼﾞ集会
　/31(金)
８/１(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「正しく迷う」
（藤木正三・工藤信夫著「福音は届いていますか」より）

救いだけを語る宗教は人間を侮辱しています。審きだけを語る宗教は人間を過信しています。審きと共に救いを語る宗教は人間を甘やかしています。信仰において神が与えようとしているのは救いでも審きでもないのです。それは明晰です。安住しようとしている足許を崩し、迷うべき本来の私の姿を自覚せしめてくれる、明澄なる人間への洞察です。信仰の賜物は迷いがなくなることではなくて、正しい迷い方なのです。迷いについてこそ語るのが信仰です。迷いについて何も語らぬような宗教は、宗教であっても信仰ではありません。

（藤木正三『神の風景』155頁）

私はかつて”健全な信仰というのは多少なりとも不信仰を含むものではないだろうか、いや不信仰があって初めて信仰は次の段階に進むのではないか”ということを述べたことがある。それは人間の心の八つの発達段階という考えを言い出したE・エリクソンの発想に触発されたことであった。… すなわち、もし人が全き信頼を獲得してしまったら（幸いにもこの世界も、また親も不完全さを兼ね備えた存在であるから、そんなことは現実にはありえないが）、人はもはや次のステップに進むことができないであろうというのである。

そこで私はこれと同様に、私たちの信仰心が全き完成の域に達してしまったら、その人の心は神に向かって目を上げることをやめてしまうかもしれないと考えたのである。このことは私自身の20年余に及ぶ信仰生活を振り返ってみてもよくわかることである。すなわち、神に対する素朴な疑問や不平不満、あるいはある種の不信仰があったからこそ、さらに踏み込んで神を探求しようとしたのではないかということである。… 信仰者は悩んでもよいし、迷ってもよいのである。いや迷いこそ人間の本来的な姿であり、信仰生活に不可欠な要点であるとすら言える。